

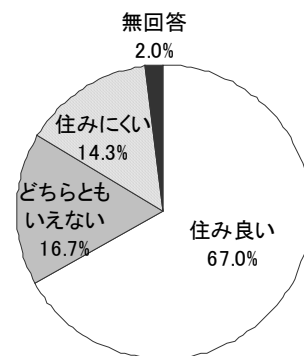
【問3】あなたにとって仁木町は住み良い町ですか。(居住評価)

居住評価については、「どちらかといえば住み良い」との回答が217人で最も多く、率にして43.0%を占めています。次いで「住み良い」が121人(24.0%)で、「どちらかといえば住み良い」と「住み良い」をあわせた『住み良い』は338人(67.0%)となり、良好な評価を得ています。一方、「どちらかという」と住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は72人(14.3%)となりました。(ブロック別)

順位	項目	数	%
1	どちらかといえば住み良い	217	43.0
2	住み良い	121	24.0
3	どちらともいえない	84	16.7
4	どちらかといえば住みにくい	50	9.9
5	住みにくい	22	4.4
	無回答	10	2.0
	合計	504	100.0

ブロック別：居住評価

順位	項目	数	%
1	住み良い	338	67.0
2	どちらともいえない	84	16.7
3	住みにくい	72	14.3
	無回答	10	2.0
	合計	504	100.0



☆仁木町での今後の定住について

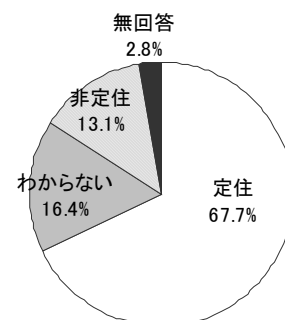
【問4】あなたは、今後も仁木町に住み続けたいと思いますか。(居留意向)

居留意向については、「今の場所に住み続けたい(現所在地定住)」が323人で最も多く、率にして64.1%ととても強い意向となりました。次いで「わからない」が83人(16.4%)となりました。

順位	項目	数	%
1	現所在地定住	323	64.1
2	わからない	83	16.4
3	道内移住	58	11.5
4	町内定住	18	3.6
5	道外移住	8	1.6
	無回答	14	2.8
	合計	504	100.0

ブロック別：居留意向

順位	項目	数	%
1	定住	341	67.7
2	わからない	83	16.4
3	非定住	66	13.1
	無回答	14	2.8
	合計	504	100.0



【問4ー①】【問4】で、3または4に○印をつけられた方におたずねします。

町外へ移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。

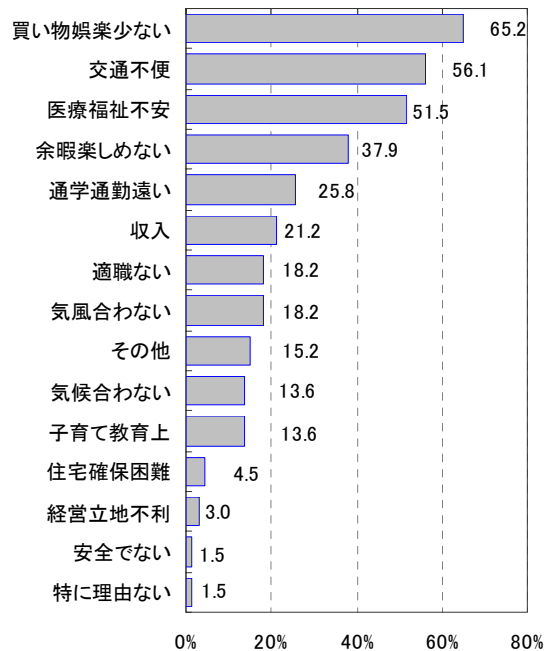
問4「3」の「道内の別の市町村へ移りたい（道内移住）」は83人（11.5%）、「4」の「道外に移りたい（道外移住）」は8人（1.6%）となっています。

道内・道外に関わらず、町外へ移りたいと思う方々の理由は、次のとおりです。（上位10項目）

- ①「買い物や娯楽などの場が少ないから」 65.2%
- ②「交通が不便だから」 56.1%
- ③「医療や福祉面で不安だから」 51.5%
- ④「余暇を楽しむ場や機会が少ないから」 37.9%
- ⑤「通学先や勤務先が遠いから」 25.8%
- ⑥「生計を保つ収入が得られないから」 21.2%
- ⑦「自分にあう仕事（職場）がないから」 18.2%
- ⑦「地域社会の気風が合わないから」 18.2%
- ⑨「その他」 15.2%
- ⑩「気候が合わないから」 13.6%
- ⑩「進学や子育てなど子どもの教育上の問題から」 13.6%

「その他」は10人ほどいますが、それらは冬の生活や老後の不安、後継者がいない、自宅が他町にあるからなどと、個人的な理由から移住を望んでいます。

順位	項目	数	%
1	買い物娯楽少ない	43	65.2
2	交通不便	37	56.1
3	医療福祉不安	34	51.5
4	余暇楽しめない	25	37.9
5	通学通勤遠い	17	25.8
6	収入	14	21.2
7	適職ない	12	18.2
7	気風合わない	12	18.2
9	その他	10	15.2
10	気候合わない	9	13.6
10	子育て教育上	9	13.6
12	住宅確保困難	3	4.5
13	経営立地不利	2	3.0
14	安全でない	1	1.5
14	特に理由ない	1	1.5
	無回答	0	—
	全 体	66	—



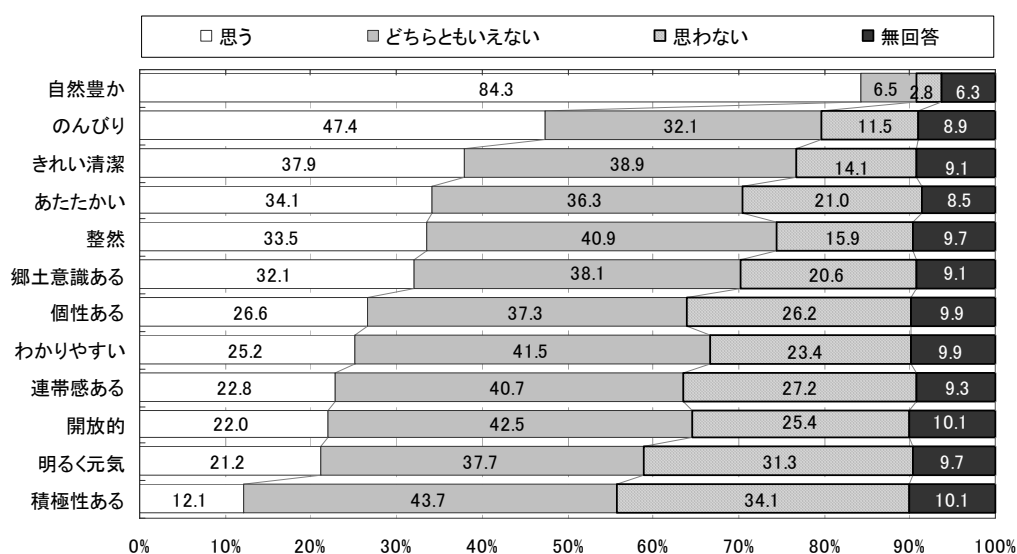
☆仁木町のイメージと生活価値観、将来方向について

【問5】あなたは、現在の仁木町をどのようなまちだと思いますか。（択一）

一般的に、町のイメージには肯定的なイメージと否定的なイメージがあります。

肯定的なイメージとしては『思う』『「そう思う」+「やや思う」]との回答に相当し、「自然豊かな町」(84.3%)と「のんびりした町」(47.4%)に代表されます。一方、否定的なイメージは『思わない』『「あまり思わない」+「そう思わない」]との回答に相当し、「消極的な町」(34.1%)と「活気がない町」(31.3%)に代表されます。

	思う	どちらとも いえない	思わない	無回答	
自然豊か	84.4	6.5	2.8	6.3	人口的な
のんびり	47.5	32.1	11.5	8.9	せわしない
きれい清潔	37.9	38.9	14.1	9.1	殺風景な
あたたかい	34.1	36.4	21.0	8.5	冷たい
整然	33.5	40.9	15.9	9.7	雑然とした
郷土意識ある	32.1	38.2	20.6	9.1	郷土意識ない
個性ある	26.6	37.3	26.2	9.9	個性ない
わかりやすい	25.2	41.5	23.4	9.9	わかりにくい
連帯感ある	22.8	40.7	27.2	9.3	連帯感ない
開放的	22.0	42.5	25.4	10.1	閉鎖的な
明るく元気	21.2	37.8	31.3	9.7	活気がない
積極性ある	12.1	43.7	34.1	10.1	消極的な



【問6】あなたは、将来の仁木町がどんなまちであってほしいですか。（複数回答）

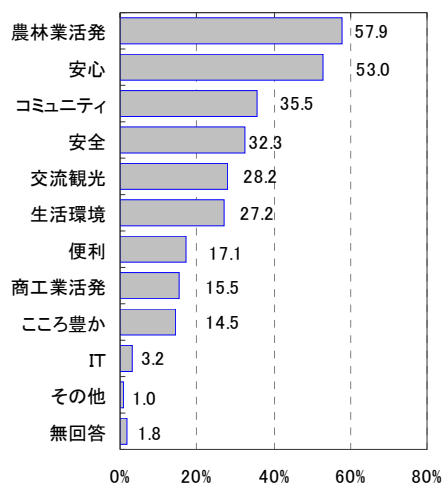
町の将来像として回答率が高い項目の順にあげると、次のようになりました。

- ① 豊かな自然を守り、田畑や山並みの美しい「農林業が活発なまち」 /57.9%
- ② 保健・医療・福祉が充実した「安心なまち」 /53.0%
- ③ 助けあいや支えあいがあり、みんな信頼しあう「あたたかなコミュニティのまち」 /35.5%
- ④ 災害に強く、犯罪や事故がない「安全なまち」 /32.3%
- ⑤ 多くの人々が訪れる「交流・観光のまち」 /28.2%

- ⑥ 上下水道・ゴミ処理・公園など「生活環境が整ったまち」 /27.2%
- ⑦ 道路や公共交通などの利便性が高い「便利なまち」 /17.1%
- ⑧ 魅力ある働き場所が多い「商工業が活発なまち」 /16.6%
- ⑨ 教育・文化・スポーツ・芸術の盛んな「こころ豊かなまち」 /14.5%
- ⑩ 情報通信基盤が整備された「ITのまち」 / 3.2%

町の将来像として、基幹産業である“農業”の振興をめざす「農林業が活発なまち」を望むと同時に、保健・医療・福祉が充実した「安心なまち」を望んでいるといえます。

順位	項目	数	%
1	農林業活発	292	57.9
2	安心	267	53.0
3	コミュニティ	179	35.5
4	安全	163	32.3
5	交流観光	142	28.2
6	生活環境	137	27.2
7	便利	86	17.1
8	商工業活発	78	15.5
9	こころ豊か	73	14.5
10	IT	16	3.2
11	その他	5	1.0
	無回答	9	1.8
	全体	504	—



次に、以下のように将来像の選択肢を大きく3つの分野（「産業」「生活」「福祉」）に整理すると、全体としては「生活」の分野を重視した将来像を望んでいるといえます。

・「産業分野」（「農林業が活発なまち」「商工業が活発なまち」「交流・観光のまち」の3項目）

⇒回答者数 512 人（292+78+142）、回答率 101.6%（512/504）

・「生活分野」（「安全なまち」「安心なまち」「生活環境が整ったまち」「便利なまち」「ITのまち」「こころ豊かなまち」の5項目）

⇒回答者数 742 人（163+267+137+86+16+73）、回答率 147.2%（742/504）

・「福祉分野」（「安心なまち」「あたたかなコミュニティのまち」の2項目）

⇒回答者数 446 人（267+179）、回答率（88.5%）（446/504）

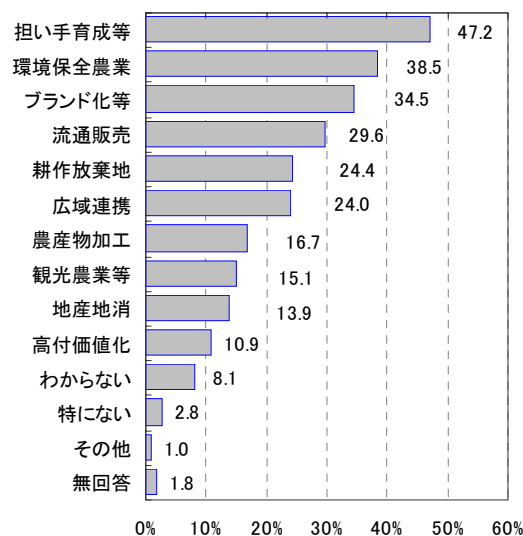
☆仁木町の産業振興、観光振興について

【問7】あなたは、仁木町の基幹産業である『農業』について、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えでしょうか。（複数回答）

アンケートの結果では、今後特に力を入れるべき事項は、次のようになりました。

順位	項目	短縮版	数	%
1	担い手の育成や新規就農者の積極的な受け入れ、新たな労働力の確保	担い手育成等	238	47.2
2	有機農業や低農薬農業、産業廃棄物対策など、安心・安全で環境にやさしい農業の推進	環境保全農業	194	38.5
3	産地ブランド化やイメージアップの強化	ブランド化等	174	34.5
4	新たな販路開拓や契約生産、直接販売など、農産物の流通販売対策の強化	流通販売	149	29.6
5	遊休農地(耕作放棄地)対策の推進	耕作放棄地	123	24.4
6	広域連携による農産物販売、産直事業、地元農産物のPRなどを推進	広域連携	121	24.0
7	農産物の加工分野の育成	農産物加工	84	16.7
8	市民農園の開設や観光・体験型農業の推進	観光農業等	76	15.1
9	町内での販売体制の強化や地産地消の推進など、地元販売・地元消費の拡大	地産地消	70	13.9
10	異業種との連携や研究開発による農産物の高付加価値化を推進	高付価値化	55	10.9

順位	項目	数	%
1	担い手育成等	238	47.2
2	環境保全農業	194	38.5
3	ブランド化等	174	34.5
4	流通販売	149	29.6
5	耕作放棄地	123	24.4
6	広域連携	121	24.0
7	農産物加工	84	16.7
8	観光農業等	76	15.1
9	地産地消	70	13.9
10	高付価値化	55	10.9
11	わからない	41	8.1
12	特にない	14	2.8
13	その他	5	1.0
	無回答	9	1.8
	全体	504	—



農業の施策分野別にみると、選択肢の10項目は下表のようになります。

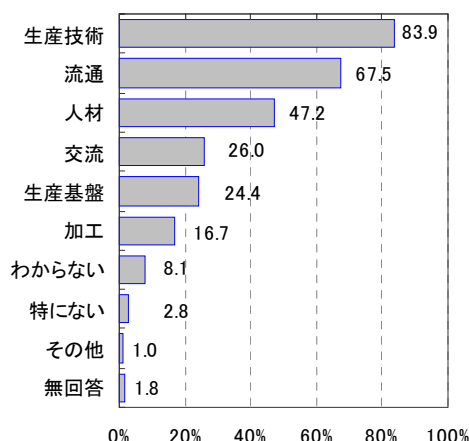
☆農業施策分野

「生産基盤」「生産技術」「流通」
「人材」「交流」「加工」の6分野

項目 \ 分野	生産基盤	生産技術	流通	人材	交流	加工
ブランド化等		○				
環境保全農業		○				
流通販売			○			
地産地消			○			
広域連携			○			
高付価値化		○			○	
担い手育成等				○		
農産物加工						○
耕作放棄地	○					
観光農業等					○	

分野別では、今後は「生産技術」と「流通」の分野に力を入れることが望まれています。

順位	項目	数	%
1	生産技術	423	83.9
2	流通	340	67.5
3	人材	238	47.2
4	交流	131	26.0
5	生産基盤	123	24.4
6	加工	84	16.7
7	わからない	41	8.1
8	特にない	14	2.8
9	その他	5	1.0
	無回答	9	1.8
	全 体	504	—

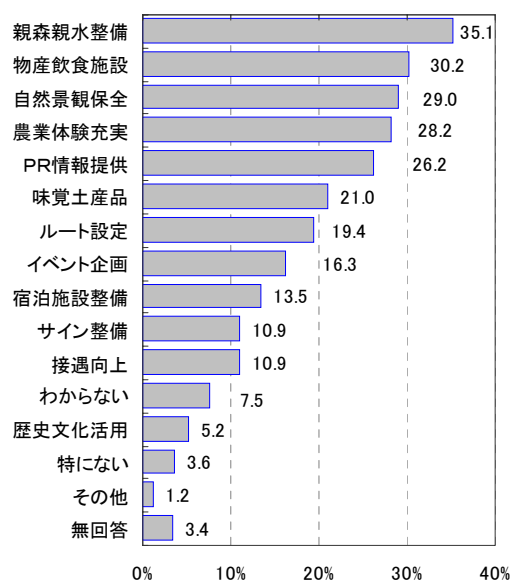


【問8】あなたは、仁木町の観光振興について、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えでしょうか。（複数回答）

観光振興について、今後特に力点を入れるべき事項は、次のような結果になりました。

番号	項目	短縮版	数	%
1	美しい自然や景観(景勝地)の保全	自然景観保全	146	29.0
2	森林や河川などを利用した自然に親しめる場の整備	親森親水整備	177	35.1
3	魅力ある観光ルートの設定	ルート設定	98	19.4
4	観光案内板、道路標識などの整備	サイン整備	55	10.9
5	農業などの体験メニューの充実や施設の整備	農業体験充実	142	28.2
6	地域の歴史や文化の活用、整備	歴史文化活用	26	5.2
7	宿泊施設の整備	宿泊施設整備	68	13.5
8	物産販売、飲食、観光案内など受け入れサービス施設の充実	物産飲食施設	152	30.2
9	地域の素材を活用した特色ある料理、土産品の開発	味覚土産品	106	21.0
10	地域性のある各種イベントや交流企画の充実	イベント企画	82	16.3
11	来訪者へのサービスや接遇の向上	接遇向上	55	10.9
12	町外への観光PRや情報提供の強化	PR情報提供	132	26.2

順位	項目	数	%
1	親森親水整備	177	35.1
2	物産飲食施設	152	30.2
3	自然景観保全	146	29.0
4	農業体験充実	142	28.2
5	PR情報提供	132	26.2
6	味覚土産品	106	21.0
7	ルート設定	98	19.4
8	イベント企画	82	16.3
9	宿泊施設整備	68	13.5
10	サイン整備	55	10.9
10	接遇向上	55	10.9
12	わからない	38	7.5
13	歴史文化活用	26	5.2
14	特にない	18	3.6
15	その他	6	1.2
	無回答	17	3.4
	全 体	504	—



観光施策分野からみると、選択肢の 12 項目は下表のようになります。

☆観光施策分野
「環境保全」「アクセス」「観光基盤」
「メニュー」「接遇」「PR」の6分野

分野 項目	環境 保全	アク セス	観光 基盤	メ ニュー	接遇	P R
親森親水整備	○					
物産飲食施設			○			
自然景観保全	○					
農業体験充実				○		
P R 情報提供						○
味覚土産品				○		
ルート設定		○				
イベント企画				○		
宿泊施設整備			○			
サイン整備		○				
接遇向上					○	
歴史文化活用				○		

分野別では、今後は「メニュー」と「環境保全」に力を入れていくことが望まれています。

順位	項 目	数	%
1	メニュー	356	70.6
2	環境保全	323	64.1
3	観光基盤	220	43.7
4	アクセス	153	30.4
5	P R	132	26.2
6	接遇	55	10.9
7	わからない	38	7.5
8	特にない	18	3.6
9	その他	6	1.2
	無回答	17	3.4
	全 体	504	—

